

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	1138	総合型地域スポーツクラブ創設支援事業	会計	01	一般会計
基本施策	34	だれもが気軽に楽しめるスポーツを振興する	款	10	教育費
			項	06	保健体育費
			目	01	保健体育総務費
担当部課名		教育部 生涯学習課 スポーツ振興室	細目	103	生涯スポーツ振興事業
作成者氏名	前田 明伸	連絡先	22-9680	細々目	02
					総合型地域スポーツクラブ創設支援事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	様々なスポーツ・リクリエーションをメニューにした総合型地域スポーツクラブを小学校区や中学校区及び旧町村地区を単位に設立し、クラブの趣旨に賛同し入会する人	単位地区内の住民の意思疎通がクラブを通して増大する 病気になりにくい、健康で明るい地区となる
本年度事業内容	総合型地域スポーツクラブ創設支援事業(ゆめが丘クラブ) 総合型地域スポーツクラブ活動支援事業(上野東部スポーツクラブ)	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
	根拠法令・要綱等	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.3	0.3	0.3
	人件費合計(A)	2,160	2,160	2,160
支出内訳(千円)	事業費(B)	400	1,100	1,300
	委託料	100	200	400
	補助金	300	900	900
	その他			
	合計(A+B)	2,560	3,260	3,460
財源内訳(千円)	特定財源			
	国庫支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	一般財源	2,560	3,260	3,460
上記 ~ に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
創設支援クラブ数	クラブ	1	1	2			
活動支援クラブ数	クラブ	1	3	3			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
創設支援クラブの比率 創設支援クラブ数/創設支援クラブ目標数	数値も目標に対する比較として、年度目標の創設支援クラブ目標数を分母とし、該当年度の創設支援クラブ数を分子にその比率をクラブの指標としました。	%	100 目標 ()	100	100
活動支援クラブの比率 活動支援クラブ数/活動支援クラブ目標数	数値も目標に対する比較として、年度目標の活動支援クラブ目標数を分母とし、該当年度の活動支援クラブ数を分子にその比率をクラブの指標としました。	%	100 目標 ()	100	100

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

スポーツは行政が準備しそこに参加する時代は終わりました。最近、全国的に小学校区や中学校区のエリアで自主運営・自主活動・参加者負担による総合型地域スポーツクラブが創設され、入会者自身によって考えた複数のスポーツやリクリエーションを楽しむ時代に入りました。しかしまだまだクラブの創設に対し地域によって温度差があり、行政主導の影響が残っています。健康と体の管理は個人自らが注意することが必要です。今後も啓発活動に努め、時代の変化に対応します。

評価	必要性	4	病気にかかるよりかからない方がよい。住む人が元気なら地域も元気になる。スポーツやリクリエーション活動を通じて地域が活性化される機会を総合型地域スポーツクラブが提供してくれると思います。入会や退会は自由、気軽に内容を選べるクラブは時代にマッチしたものとします。今後も創設に努めます。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	3		
				A